

Velocity

リリース 9.4.0

システムリリースサマリー(Rev A)

2023 年 9 月

© 2023 Spirent Communications, Inc. All Rights Reserved.

All the company names and/or brand names and/or product names referred to in this document, in particular, the name “Spirent” and its logo device, are either registered trademarks or trademarks of Spirent plc and its subsidiaries, pending registration in accordance with relevant national laws. All other registered trademarks or trademarks are the property of their respective owners. The information contained in this document is subject to change without notice and does not represent a commitment on the part of Spirent Communications. The information in this document is believed to be accurate and reliable; however, Spirent Communications assumes no responsibility or liability for any errors or inaccuracies that may appear in the document.

目次

概要.....	4
機能拡張.....	4
Velocity 適合性マトリクス	6
Velocity 9.4.0 における既知の問題.....	7
Velocity 9.4.0 における修正	8
今後のアップグレードの計画	10
License Server バージョン 11.19 より前のバージョンのサポートを終了します ..	10
インストール方法とドキュメンテーション	11
ドキュメンテーション.....	11
How to Contact Us.....	12

概要

このドキュメントには Velocity リリース 9.4.0 の機能拡張、修正、および既知の問題についての情報が含まれています。

このドキュメントは、Spirent Customer Service Center の Web サイト <http://support.spirent.com> でも入手できます。

機能拡張

Velocity のメジャーリリースごとに、機能セクションにわかれた 1 つ以上のテーマがあります。Velocity 9.4.0 リリースの主な焦点は以下のとおりです。

テーマ	主な機能
Functionality	<p>外部スクリプトの実行 - カスタムレポートの管理</p> <ul style="list-style-type: none">関連するすべてのレポートへの簡単なアクセスにより、ルート原因分析を迅速に行う能力が提供されます <p>外部スクリプトの実行 - Velocity UI を介したパラメータファイルの管理</p> <ul style="list-style-type: none">パラメータの受け渡しのための改善されたワークフローは、Python およびその他の iTest 以外の自動化のためのテストエグゼクティブとしての Velocity の柔軟性と使いやすさを向上させます <p>Velocity レポートにすべてのマージされたパラメータを含める</p> <ul style="list-style-type: none">実行パラメータの詳細な記録は、ルート原因の失敗分析を迅速化します <p>Velocity でのアイコンのアップロードの制限</p> <ul style="list-style-type: none">悪意のあるファイルのアップロードを防ぎます。さらに、管理ユーザーは非管理ユーザーがアイコンをアップロードできるかどうかを示すことができます <p>トポロジエディタの右パネル - パレットへのアクセス制御</p> <ul style="list-style-type: none">Velocity は管理ユーザーが、トポロジとアクティブな予約の作成または更新時にユーザーがアクセスできるパレットのオプションを制御できるようにします <p>Velocity でのエージェントの利用状況の可視性</p> <ul style="list-style-type: none">新しいレポートダッシュボードが、Velocity エージェントの利用状況と実行スループット KPI のセットを表示します

	<ul style="list-style-type: none">・ 実行ワークロードを適切に処理するために Velocity エージェントの割り当てを最適化するために使用できるデータを提供します。
Enterprise	<ul style="list-style-type: none">・ Cloud Native フェーズ II と 予約のスケーリング

重要:**Velocity レガシーライセンスモードのサポートの終了**

Velocity 9.4.0 および将来のリリースでは、Velocity Legacy ライセンスはサポートされません。Velocity 9.4.0 にアップグレードする前に、お客様のアカウントマネージャに連絡し、Velocity Server Standard ライセンスモードに切り替えることをお勧めします。

注意:

・ 自動 PostgreSQL メンテナンスが実行中の場合、Velocity が応答しなくなる可能性があります。

推奨: Velocity がアクティブに使用されていないときに自動 PostgreSQL メンテナンスプロセスが実行されるように設定します。たとえば、自動スケジュールを毎月の最初の土曜日または日曜日、またはシステムが使用されていないときに実行されるように設定します。

・ ターミナルセッションに追加のセキュリティを提供するために外部コンソールサーバーを使用する場合、Velocity Deployment Guide に記載された手順に従って、Distributed Console Server パッケージをダウンロードし、外部コンソールサーバーを構成してください。

Velocity 適合性マトリクス

次の表に、サポートされているソフトウェアバージョンを示します。

項目	タイプ	バージョン
Spirent Velocity VM デプロイ環境	Hypervisor	ESXi バージョン 7.0 KVM Version1:4.2-3ubuntu6.27
	Red Hat OpenStack	バージョン 16.1
ユーザインターフェースブラウザ	Edge	Chrome ベースのバージョン 116
	Google Chrome	バージョン 116(64 ビット)
Velocity Agent	Windows	(64bit OS のみ)Windows10Pro、Windows Server2019
	Linux	(64 ビット OS のみ)RHEL8.8、Ubuntu20.04LTS
L1 スイッチ	MRV**	MRV リリースを使用した MCC および OCC のサポート: <ul style="list-style-type: none"> EM316LNXNM v4.6mcc04 EM316LNXNM v4.10mcc01
	Calient	バージョン B6.0-7、モデル:S324 バージョン 6.1-3a、モデル:S320(E640)-9.0 リリースで検証済み
	NetScout	Test Stream Management Software、バージョン 04.08.200.025 モデル:3901R
	Polatis	Model: N-VST-48x48-HU1-DMHNS-800 Name: POLATIS Inc . Version: 6.8.1.4
	Lepton	モデル:ColdFusion-1 ソフトウェアバージョン: 1.5.44
L2 スイッチ	Cisco	モデル:2960、バージョン:15.0(1)SE3 型式:C3750、バージョン:12.2(20)SE3 モデル C3750、バージョン:12.2(55)SE7
Spirent TestCenter Avalanche	Application	5.42 5.40
OpenStack	Cloud Manager	Queens
VMware VSphere		バージョン 7.0
AmazonWebServices(AWS)		バージョン 2.11.12
Kubernetes		バージョン 1.23.6
データベース	POSTGRESQL	13.2
	OpenSearch	2.2.0
	Minio	2021-04-22T15:44:28Z
	Kafka	3.2.3
	Zookeeper	3.5.10

** テスト対象:

U-Boot1.0.3.4Linux カーネル v2.6.32.1-mrv EM316LNXNM(ファームウェア 5c.1c)

U-Boot1.0.3.4Linux カーネル v2.6.32.1a-mrv EM316LNXNM(ファームウェア 5e.23)

Velocity 9.4.0 における既知の問題

このセクションでは、このリリースでの既知の未解決の問題をリストします。

Issue Key	Summary
RM-33380	<p>スクリプトアセットを .ffpj スクリプトパラメータファイルを使用して実行する際、Velocity UI はスクリプトマニフェストファイルからパラメータを削除することを許可します。</p> <p>しかし、スクリプトの実行が完了すると、スクリプトの実行レポート > すべてのパラメータを表示 > ON ボタンは、マニフェストファイルからのパラメータを表示し、パラメータが削除されずに実行中に使用されたことを示します。</p>
RM-33219	<p>次の状況では、キューに並んだ予約に対して正しくない候補が表示される可能性があります：</p> <p>Velocity Configure ページで「常に最初の解決を実行」オプションを選択し、解決済みのリソースを持つ予約をキューに送信する場合。たとえば、予約の競合ダイアログを介して予約をキューに送信する場合です。</p>
RM-33196	<p>外部コンソールサーバーセットアップ（Guacamole サーバー）のために Docker をインストールする場合、以下の手順に従ってください。</p> <p>Docker を apt を使用してインストールします。</p> <pre>sudo apt install docker.io</pre> <p>重要: SNAP を使用して Docker をインストールしないでください。なぜなら、ポートを開くための追加の手順が必要であるか、ufw を無効にする必要があるからです。</p>
RM-32998	Velocity が生成する実行レポートにはタグが含まれていません。
RM-32889	アクティブな予約を変更する際（例：存在しないリンクを追加する場合）、表示されるトポロジエラーは、別のタブに移動してから Reservations > Topology タブに戻ると消えます。
RM-32488	<p>Velocity に多くの予約がある場合、フィルターなしでカレンダーページを開こうとするとエラーが表示されます。</p> <p>エラーの原因は、Velocity UI が多数の同時リクエストを送信し、応答に長い時間がかかる可能性があるため、一部のリクエストが失敗することです。</p> <p>回避策: リクエストの数を減らすためにフィルターを使用してください</p>
RM-32299	Velocity Datastore はユーザー名（ユーザーID）を検証し、ユーザー名（ユーザーID）の先頭または末尾の余分な空白を自動的に削除します。

Velocity 9.4.0 における修正

このセクションでは、このリリースの修正点を一覧表示します。

Issue Key	Summary
RM-33283 SR-01599114	大量のネストされたリソースを持つトポロジーキャンバスのパフォーマンスに問題があり、応答しなくなる。
RM-33276 SR-01599057	パスしたドライバー実行レポートが Velocity によって自動的に削除されなくなる問題が発生。
RM-33147 SR-01596325	条件付き言語の抽象ドキュメントが動作と一致しない。
RM-33129 SR-01595606	Velocity 8.7.0 から Velocity 9.1.6 へのアップグレードにより、vBots が壊れる問題が発生。
RM-33125 SR-01595571	予約アクティベーションタスクの失敗による予約実行の問題が「進行中」で表示される。
RM-33122 SR-01594944	実行中のリソースの非アクティブ化に関する問題が発生。
RM-33079 SR-01595110	Java 例外による予約の失敗に関する問題が発生。
RM-33064 SR-01594741	リソース利用タブでの説明による検索が正しく機能しない問題が発生。
RM-33061 SR-01594632	カレンダー検索フィルタがフィルタリングされたアイテムのみを表示しない問題が発生。
RM-33059 SR-01594624	API ドキュメンテーションにいくつかのエンドポイント URL が 2 回リストされている問題がある。
RM-33050 SR-01594570	日付で予約をフィルタリングする問題が期待どおりに表示されない。
RM-33034 SR-01593669	テストフェーズ中に L1 RAN 実行の失敗に関する問題が発生。
RM-33033 SR-01594016	マルチ VLAN の未タグ付き VLAN ID として "?" を使用した際の、他のリソースとの複数の接続を持つ問題がある。
RM-33029 SR-01593986	API: GET /bundles がドキュメントと異なる方法で動作する問題がある。
RM-33028 SR-01592120	トポロジー内でリンクを追加および削除する問題がある。

Issue key	Summary
RM-32892 SR-01593047	トポロジが保存された後、VLAN クラウドの名前を変更できません。
RM-32819 SR-01592051	Y/TBML ファイルに一意のプロパティタイプがテキストとして表示されます。
RM-32804 SR-01591303	POST /ito/executions/v1/runlists API がランリストを開始しない問題があり、ただし、レスポンスは有効です。
RM-32792 SR-01591293	実行リスト情報タブにおいて、一部の実行リストで最後の実行と実行回数を "N/A" に設定する問題があります。
RM-32755 SR-01590444	購読済みのサブトポロジを変更した後、トポロジ内の接続リンクが消える問題があります。
RM-32592 SR-01587778	テキストボックスから一意のプロパティタイプに変更できない問題があります。
RM-32493 SR-01586603	最初の予定された再発予約の開始時刻を変更すると、起動/終了タスクが消える問題があります。
RM-32370 SR-01584414	延期リソースをアクティブ化しようとする、アクティブ化キューがハングし、デバイスがアクティブになりません。
RM-32351 SR-01584413	将来のトポロジ予約のインスタンスを変更しようとする、すべての予約が更新されない問題があります。
RM-32225 SR-01583126	新しい予約を作成できません。すべての試みは「アクティブ化中」の状態です。予約がスタックする結果になります。
RM-32224 SR-01583114	グループ化されたリソース間の接続に関する問題があります。
RM-31641 SR-01577965	Velocity Git リポジトリがリポジトリをクローンできない (SSH キーが展開され、正常に機能しています)
RM-31586 SR-01577580	予約トポロジ内の延期リソースに対して「アクティブ化」ボタンが利用できない問題があります。
RM-30853 SR-01556636	デバイスのステータスが「ドライバーが呼び出されない」状態が更新されない問題があります。
RM-30530 SR-01567746	実行レポートに「実行者」ラベルのユーザー名が表示されない問題があります。
RM-28261 SR-01545773	トポロジエディタで、リンク接続情報をクリックするとリソースのルートタブの読み込みに長い時間がかかります。
RM-24646 SR-01497028	予約内のルートが正しいポート状態を表示しない問題があります。

今後のアップグレードの計画

License Server バージョン 11.19 より前のバージョンのサポートを終了します

Velocity 9.4 は、License Server バージョンが FlexNet v11.19 未満をサポートする最後のリリースです。Velocity のリリース 9.5 より前に FlexNet v11.19.3 にアップグレードされることを確認してください。

インストール方法とドキュメンテーション

Velocity Deployment Guide には、ソフトウェアインストール方法が記載されています。ドキュメントリンクはサポートで入手できます。Spirent.com(Spirent Velocity の関連リソース)のダウンロード領域にあります。また、Spirent Knowledge Base(<https://support.spirent.com/SpirentCSC/>)からダウンロードすることもできます。

ドキュメンテーション

ユーザーズドキュメンテーションは、Velocity GA 版のオンラインヘルプ形式で入手できます。Velocity アプリケーションにはヘルプファイルが含まれ、リファレンス情報と状況によるユーザーサポートを提供します。メニューバーまたはダイアログボックスの「Help」ボタンをクリックして、ヘルプファイルを起動します。PDF 形式で配信されるドキュメントは、製品のインストールと使用をサポートします。

Velocity Deployment Guide	https://support.spirent.com/SpirentCSC/SC_KnowledgeView?id=DOC10663
Velocity System Release Summary	
Velocity User Guides	
Velocity API Reference (最新の API と非推奨の API のリストを含む)。 Velocity API Version difference Comparison Documents(リリースごとに追加および変更された API を含む)	
Velocity Resource Driver Reference	
Velocity Abstract Resource Conditions Language Reference Guide	
Script examples bundle Velocity Virtual Testbed Orchestration Example Instructions and Hello World! Test Script	
License Servers Installation Guide	https://support.spirent.com/SpirentCSC/SC_KnowledgeView?id=DOC11183
Velocity User Agent Guide	https://support.spirent.com/SpirentCSC/SC_KnowledgeView?id=DOC11235
VDS Deployment Guide	https://support.spirent.com/SpirentCSC/SC_KnowledgeView?id=DOC10708
VDS Release Summary	

注記: Velocity> Related Resources セクション(Spirent Customer Service Center のダウンロードページ(<https://support.spirent.com/SpirentCSC/>))には、ドライバを Spirent が提供する最新版にアップデートしたい場合に提供される、Velocity ドライバが含まれています。

How to Contact Us

To obtain technical support for any Spirent Communications product, please contact our Support Services department using any of the following methods:

Americas

E-mail: support@spirent.com

Web: <http://support.spirent.com>

Toll Free: +1 800-SPIRENT (+1 800-774-7368) (North America)

Europe, Africa, Middle East

E-mail: support@spirent.com

Web: <http://support.spirent.com>

EMEA Phone: +33 (1) 6137 2270

Asia Pacific East

E-mail: support@spirent.com

Web: <http://support.spirent.com>

In China Mainland Phone: +86 (400) 810-9529 (toll-free)

Out of China Mainland Phone: +86 (10) 8233 0033

Asia Pacific South

E-mail: support@spirent.com

Web: <http://support.spirent.com>

India, South East Asia, Australia and New Zealand Phone: +91 800-419-2111 +91 (80) 67023400

The Spirent Knowledge Base (<http://support.spirent.com>) is designed to serve your technical information needs. The Knowledge Base gives you access to tens of thousands of documents that help answer your network analysis and measurement questions. New content is added daily by Spirent's communications and networking experts. Sign in with your user ID and password to gain access to additional content that is available only to customers – user manuals, Help files, release notes, Tech Bulletins, and more. When you sign in, you can also use the Knowledge Base to download software and firmware, and to manage your SRs.

Information about Spirent Communications and its products and services can be found on the main company website at <http://www.spirent.com>.

Company Address

Spirent Communications, Inc.

26750 Agoura Road

Calabasas, CA 91302 USA